

大原うぶやの里活性化推進協議会

助産師の卵 産屋見学

毎年夏になると京都府医師会看護専門学校助産学科生、大阪市立助産師学院生、京都府立医科大学助産学生たちが昔のお産を学ぶために大原の産屋を訪れます。

江戸時代以前からあった大原の産屋は昭和 23 年を最後に使われなくなりましたが、出産のリスクが高かった当時、自然の力・ご先祖様や神様の力を頂き無事安心してお産できる場として大切に使われてきました。

高度医療の進んだ現在からは考える事が出来ないかもしれませんが、往時の出産を通し命の大切さを肌で感じて頂きました。

全員国家試験に合格し素晴らしい助産師さんになれる事を祈っています。



京都府医師会看護専門学校 7/24



大阪市立助産師学院 8/3



京都府立医科大学 8/24